

# 令和2年度 佐賀市地域づくり交流会 概要版

## 1 開催概要・実績

(1) 日 時：令和3年1月30日（土）9：30～12：00

(2) 会 場：佐賀市立公民館等11会場（オンライン開催）

(3) タイムスケジュール

| 時間    | 内 容              |
|-------|------------------|
| 9:35  | 基調講演（～10：10まで）   |
| 10:10 | 活動事例発表（～10：30まで） |
| 10:40 | 旗揚げトーク（～11：55まで） |

(4) 目的：地域づくりに関わる多様な主体（まちづくり協議会、市民活動団体など）が、自らの役割や連携のあり方について認識を深めるとともに、コロナ禍での今後の事業の広がりや協働の可能性を見出し、実践につなげるため、出会い交流することを目的とする。

(5) 来場者数：152人（まちづくり協議会147人、市民活動団体5人）

(6) 基調講演：テーマ「新しい生活様式に対応したこれからのまちづくり」

講 師 岡山NPOセンター 代表理事 石原 達也 氏

### 「居場所と出番」

#### 「支事」

#### 「人交密度」

田舎の  
あほもの  
ですが…

NPO法人てっちりこ 元代表

NPO法人 みんなの集落研究所 会長 岡本勝光



### 協議会と各町内会との関わり



### 講演の内容

#### （NPO法人てっちりこの事例紹介）

- ・特産品「姫唐辛子」を地域のお年寄りが加工・販売
- ・「仕事」（取引・商い）がお年寄りの生活の支え＝「支事」になっている
- ・特産品販売で地元と交流が生まれて、自分の居場所や出番を実感
- ・「人口密度」は低い村だが、人と交流する「人交密度」は高い

#### （吉備綾南まちかど博物館の事例紹介）

- ・2つの町内会が開く、地域のイベントでの出店がコロナ禍で激減
- ・事前に撮った動画をYouTubeにアップする「オンライン博物館」を別途開催

#### （城西まちづくり協議会の事例紹介）

町内会とまちづくり協議会の役割を決めている。

世の中の状況が変わってきてる今、地域の運営方法も変えなければいけない部分もでてくる。みんなが幸せに暮らしていくには、やはり地域の活動が大事。

(7) 活動事例発表：まちづくり協議会（赤松、若楠、東与賀）、佐賀子ども劇場



(8) 旗揚げトーク：各会場をオンラインでつなぎ意見を出し合います

【コーディネーター】岡山NPOセンター 代表理事 石原 達也さん

質問①

3色のカードで旗揚げトーク！

以下の質問で該当する色を上げてください！

Q.コロナで一番困ったことは？



- ・「集いや会議」はできる範囲で行ったが、会食などは全くできていない
- ・会議の後に会食をする機会が減ってしまった

質問③

3色のカードで旗揚げトーク！

以下の質問で該当する色を上げてください！

Q.組織運営での一番の課題は？



- ・70歳以上の高齢者が中心となって地域活動に取り組んでいるが、子育て世代のような若い方が後継者を担ってもらうような策を考えている

質問②

3色のカードで旗揚げトーク！

以下の質問で該当する色を上げてください！

Q.感染対策で工夫されたことは？



- ・町内に遺跡が多いので、写真によるPR活動などで、まちづくりを活性化していきたい
- ・来年度はオンラインも含めて事業を検討していきたい

質問④

3色のカードで旗揚げトーク！

以下の質問で該当する色を上げてください！

Q.コロナが終息したらしたいことは？



- ・一人暮らしの方への支援ができてないので、収束後にやりたい

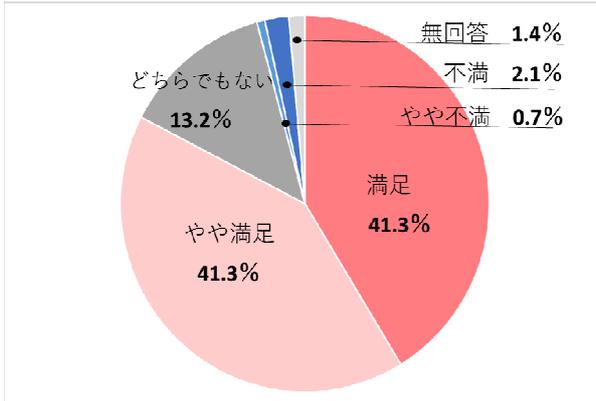
## 2 来場者アンケート結果

|       | H30  | R01  | R02  |
|-------|------|------|------|
| 回答者数① | 175人 | 117人 | 143人 |

|    | 平成30年度    |                    |            | 令和元年度     |                    |            | 令和2年度     |                    |            |
|----|-----------|--------------------|------------|-----------|--------------------|------------|-----------|--------------------|------------|
|    | 来場者数<br>② | アンケート回<br>答者数<br>① | 回答率<br>①÷② | 来場者数<br>② | アンケート<br>回答者数<br>① | 回答率<br>①÷② | 来場者数<br>② | アンケート<br>回答者数<br>① | 回答率<br>①÷② |
| 合計 | 315人      | 175人               | 55.6%      | 250人      | 117人               | 46.8%      | 152人      | 143人               | 94.1%      |

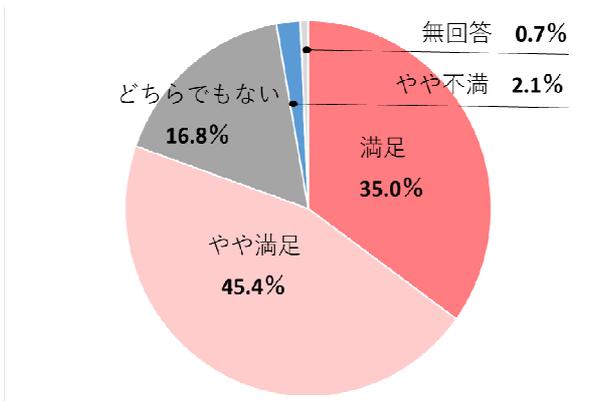
問1 本日の内容はいかがでしたか？

### (1) 基調講演



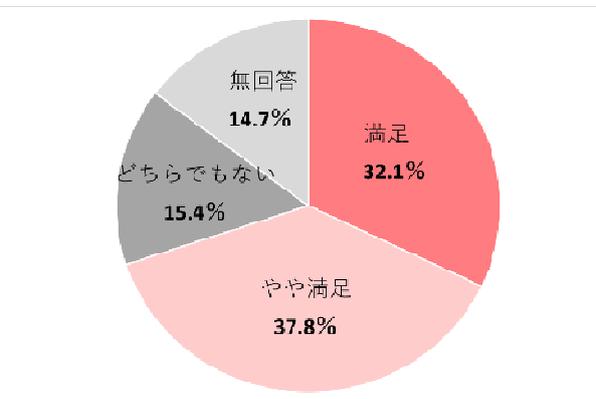
- ・まちづくりについてのヒントが多くあった
- ・コロナを受け入れ、その後の在り方について参考になった
- ・講演で話されたことは既に実施している。地域づくりの新しいやり方を知りたかった
- ・まちづくりのやりたいことが決まったら、具現化のため、NPO等プロから手助けしてもらおうことが有効と感じた

### (2) 事例発表



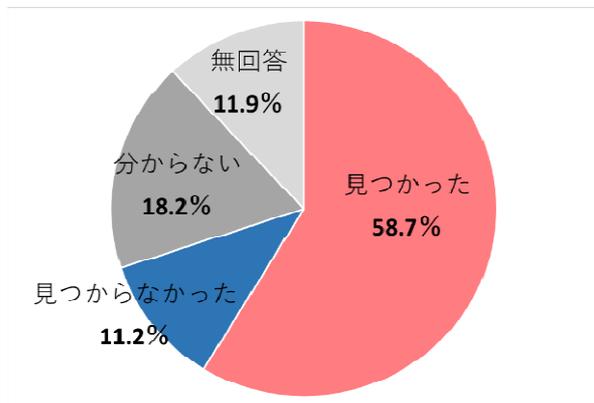
- ・コロナ禍でもきちんと活動されており刺激になった
- ・思った以上にLINEを活用しているまち協が多いのに感心した
- ・成功話だけでなく、失敗・苦心についても話も聞きたかった

### (3) 旗揚げトーク



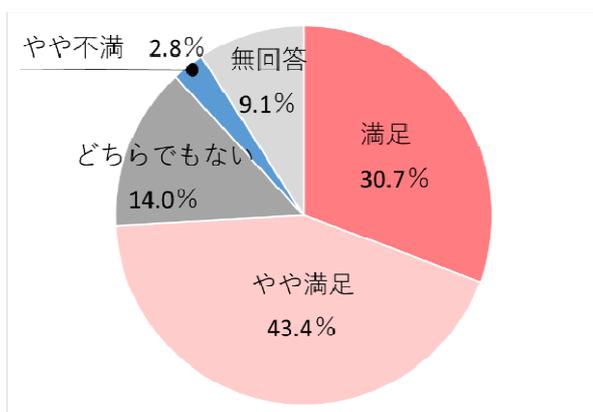
- ・他のまち協の活動を聞くことができるとても良かった
- ・3色のカードを使った参加型のトークでおもしろかった
- ・各校区の実情や悩み等が共有できた
- ・時間がもう少しあった方がいい。参加者の発言の機会が少ないと思う

問2 今回のイベントに参加して、なにか今後につながるヒントは見つかりましたか？



- 第三者であるNPOとの協働がポイントであると感じた
- 今の自分たちが困っていることを知ることが、まずしなければいけないことだと思った
- 地域内のあらゆる会との連携の大切さ（重要さ）
- ZOOMを使った取り組み（会議や講演会）
- スマホ、LINEの活用
- ふるさと納税の活用（NPO法人も含め）
- 一緒に考えていきたい地域が見つかった。ぜひお声かけしたい
- 公共交通空白地域の先進事例が分かった
- 地元と共有できる事例もあったが、同じような取り組みができるのかは不安もある

問3 オンラインでの交流はいかがでしたか。



- モニター越しでの話し合いになるが、それでもいろんな意見を聞いたのが良かった
- 少ない人数の会場なのでより集中して聞くことができた
- 密集にならなくて良かった
- オンラインの交流会は、今後活用したい
- コロナ禍で仕方ないが、本来ならば一堂に会し、生の声を聞きたい
- 半日なので、課題を1つに決めて、その深堀をした方がよい

当日の様子は「つながるさがし」で動画をみることができます。また、資料も掲載していますので、ぜひご覧ください。

<https://www.tsunasaga.jp/news/2021/02/2-1.html>

